

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
健康管理学		トータルビューティ学科／1年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
50分	45回	3単位（45時間）	必須	
授 業 の 概 要				
【コミュニケーション学・エステティックカウンセリング】 他者との関わりを通して、多様な考えを知る。相互理解を深めていくことで、より豊かな人間関係が築けるよう導く。顧客の要望を知り信頼関係を築くために、心理学の基礎知識を学び、人間的な理解を深める。また、実践としてのコンサルテーションの方法について学習する。 【衛生・救急法】 不特定多数の顧客に、安心、安全に施術を行うために必要な電気の知識と使用する機器について、感染症を始めとする衛生管理、体調の急変に対応できる救急法について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
【コミュニケーション学・エステティックカウンセリング】 顧客から信頼され、必要とされる人材を目指す。 ①コミュニケーションスキルの向上②他者との信頼関係の形成、③自己肯定感の向上、④他者を受け容れる能力の向上などを身につける。 【衛生・救急法】 各感染症の詳細とその予防方法、機器、備品ごとの消毒、管理方法を身につけることで、サロンの衛生状態を保ち、顧客に快適な環境、安全な施術を提供することができる人材となる。				
回	テ ー マ		内 容	
1～ 3	健康管理学 生消毒①	衛	エステティシャンが衛生管理を学ぶ理由 ソワンエステティック理論Ⅰ（p65～69）	ソ
4～ 6	健康管理学 衛生消毒②		サロンで留意が必要な感染症・感染予防の基本 ソワンエステティック理論Ⅰ（p70～82）	
7～ 9	健康管理学 衛生消毒③		消毒方法の種類とその使用法 ソワンエステティック理論Ⅰ（p83～92）	ソ
10～ 12	健康管理学 救急法①		応急手当の基礎知識・救命処置の基本・一時救命処置 ソワンエステティック理論Ⅰ（p166～203）	
13～ 15	健康管理学 救急法②		ファーストエイド（急病・けが） ソワンエステティック理論Ⅰ（p204～225）	
16～ 18	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		コミュニケーションワーク	
19～ 21	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		コミュニケーションワーク	
22～ 24	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		コミュニケーションワーク	
25～ 27	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		コミュニケーションワーク	
28～ 30	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		前期試験コンサルテーションシート	
31～ 33	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		学ぶ理由、カウンセリングとは、カウンセリングの基礎知識 ソワンエステティック理論Ⅰ：P126～P129	
34～ 36	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		エステティックカウンセリングの基本 ソワンエステティック理論Ⅰ：P130～P134	
37～ 39	健康管理学 （コミュニケーション学・エステティックカウンセリング）		エステティックカウンセリングの実際 ソワンエステティック理論Ⅰ：P135～P142	

回	テ ー マ	内 容		
40～ 42	健康管理学 (コミュニケーション学・エステティックカウンセリング)	後期試験コンサルテーションシート		
43～ 45	健康管理学 (コミュニケーション学・エステティックカウンセリング)	後期試験コンサルテーションシート		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【コミュニケーション学・エステティックカウンセリング】 日本スパ・ウエルネス協会 ソ ワンエステティック理論Ⅰ、Ⅳ、Ⅴ		期末試験	75.0%	・ 考査点（定期試験）70点、平常点30点（中間試験、出席率、授業に対する意欲等）で成績評価を行う。 ・ 評価項目に小テストの記載がある科目は中間試験とする。 ・ 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。 ・ 出席率90%以下の場合、成績評価の対象外となるので注意すること。 ・ 担当講師の指示に従い、事前準備を整えること。
		出席率	10.0%	
		授業態度	10.0%	
		小テスト	5.0%	

作成者:

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
健康管理学		トータルビューティ学科／2年	2026／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
50分	60回	4単位（60時間）	必須	
授 業 の 概 要				
【衛生消毒】 より安全な環境、施術を目指すためのエステティック機器学や衛生消毒について学ぶとともに、サロンで遭遇する頻度の高い救急疾患と適切に医師等に引き継ぐ能力を学ぶ。 【心身生理学】 顧客の要望を知り信頼関係を築くために、心理学に基づき人間的な理解を深める必要がある。この科目では、人間の行動や心理、欲求や情動、感情や意識等心理学の基本的知識を学び、自己肯定感の向上、他社を尊重する能力の向上を目指す。 【コミュニケーション・カウンセリング学】 各人の望む美容上の要望を満たすため、専門的な知識や技術を生かして相談に乗りアドバイスをする、コンサルティングを重視したカウンセリングの方法を学ぶ。 【スパセラピー】 健康になるための様々なトリートメント方法を学ぶことで、各人に最も適したトリートメント方法や指導方法を学ぶ。 【免疫学】 生きていくうえで不可欠な仕組みであるホメオスタシスシステムの1つである免疫について理解を深め、身体の内から美と健康に導くトリートメント方法を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
身体の中から健康になるために必要な知識をあらゆる側面から理解できるセラピストを育成する。 各人に最も適したトリートメント方法や指導方法を選択、提供できるようになる。 健康的な美とはどのような状態かと理解し、適切なプランニングができるようになる。				
回	テ ー マ	内 容		
1～ 3	健康管理学	衛生消毒①		
4～ 6	健康管理学	衛生消毒②		
7～ 9	健康管理学	心身生理①		
10～ 12	健康管理学	心身生理②		
13～ 15	健康管理学	心身生理③		
16～ 18	健康管理学	心身生理④		
19～ 21	健康管理学	心身生理⑤		
22～ 24	健康管理学	コミュニケーション・カウンセリング学①		
25～ 27	健康管理学	コミュニケーション・カウンセリング学②		
28～ 30	健康管理学	コミュニケーション・カウンセリング学③		
31～ 33	健康管理学	コミュニケーション・カウンセリング学④		
34～ 36	健康管理学	コミュニケーション・カウンセリング学⑤		

回	テ　　マ	内　　　容		
37～ 39	健康管理学	スパセラピー①		
40～ 42	健康管理学	スパセラピー②		
43～ 45	健康管理学	スパセラピー③		
46～ 48	健康管理学	免疫学①		
49～ 51	健康管理学	免疫学②		
52～ 54	健康管理学	免疫学③		
55～ 57	健康管理学	免疫学④		
58～ 60	健康管理学	免疫学⑤		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
【衛生消毒学】　日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅳ 【心身生理学】　日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅴ 【コミュニケーション・カウンセリング学】 日本スパ・ウエルネス協会　ソワンエステ ティック理論Ⅳ 【スパセラピー】日本スパ・ウエルネス協会 スパセラピー 【免疫学】日本スパ・ウエルネス協会　ソワン エステティック理論Ⅴ ipad、筆記用具		期末試験 出席率 授業態度 小テスト	75.0% 10.0% 10.0% 5.0%	・ 考査点（定期試験）70 点、平常点30点（中間試 験、出席率、授業に対する 意欲等）で成績評価を行 う。 ・ 評価項目に小テストの記 載がある科目は中間試験と する。 ・ 考査は70点以上/100点で 合格。70点未満は再試験を 行う。 ・ 出席率90％以下の場合 は、成績評価の対象外とな るので注意すること。 ・ 担当講師の指示に従い、 事前準備を整えること。